

Pray for Japan

パルシステム東京
東日本大震災復興支援活動報告書2021

パルシステム東京は、「3・11を忘れない」を基本視点に、東日本大震災被災者支援を組合員とともに取り組んできました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、これまでの活動の在り方を新しい形にするためにオンラインを駆使した2021年度の活動をご紹介します。

福島スタディツアー2021オンライン ～この人に会いたい!福島からのメッセージ～



津波と原子力災害の影響を大きくうけている新地町の漁師、小野春雄さん。
「福島の漁師が今、どんな気持ちでいるか知ってほしい」と語ります

福島を取材し、見て、聞いて、感じたことを組合員に発信するオンライン企画。パルシステムの復興支援と福島に住む方々の声を組合員へ届けました。原発事故収束の対応拠点として使用された「Jヴィレッジ」や、福島県新地町の漁師の方、「東日本大震災・原子力災害伝承館」で活躍する若者などを取材。



津波、原発事故被害を後世に伝える「東日本大震災・原子力災害伝承館」で語り部活動を行う横山和佳奈さん



福島の美しい自然を未来の子もまたのために残したいと話す「天空の里山」を営む福島裕さん

福島スタディツアーは→
こちらから本編が視聴
できます



<https://www.palsystem-tokyo.coop/report/69547/>

～3.11を忘れないシンポジウム～

東日本大震災以降、東京で私たちにできることを考える場として、毎年3月にシンポジウムを開催しています。2021年度は映画「千古の空とマドレーヌ」上映会&監督のトークイベントをオンラインで開催しました。津波で被災した宮城県南三陸町を舞台に、夢を追うパティシエとその家族を応援するボランティアたちの物語です。「支援する人」と「支援される人」のかかわりについても考える機会になりました。



『波伝谷に生きる人びと』『願いと揺らぎ』映画監督 我妻和樹氏



～3.11を忘れない～

映画の主人公長嶋シェフとその家族

詳しくはこちら

<https://www.palsystem-tokyo.coop/report/77729/>



『南三陸#食べて応援』企画を実施

東日本大震災の津波被害では、漁業も大きなダメージを受けました。地域の再生に向けて南三陸の生産者を応援するため、全センターの組合員を対象に南三陸の牡蠣、海藻セット、マダコを販売しました。



戸倉こカキとマダコの生産者
後藤太一さん(左)、後藤新太郎さん(右)



チェルノブイリ子ども基金主催オンライン学習会「豊田直己講演会」後援

「チェルノブイリ35年・福島10年～チェルノブイリから福島～」と題し、発災わずか2日後から被災地の取材を始めたジャーナリスト豊田直己氏が講演。飯館村や近隣の地域の10年間に及ぶ取材を紹介。新しい施設が建設され、一見「復興」は進んでいるように見えるけれど、いまだに放射性汚染物質が住居の身近にあり、元の生活に戻ることはできないという現実を語りました。



豊田直己氏 ©チェルノブイリ子ども基金提供

詳しくはこちら→ <https://www.palsystem-tokyo.coop/detail/77102/>

2021年度は2年ぶりになりますが、長引くコロナ禍の影響により休止していた「福島スタディツアー」をオンラインで再開することができました。今回も組合員と一緒に現地に出向くことができなかったことはとても残念ですが、50名を超える組合員の参加があり、今の福島状況を共有することができました。また、2022年3月の映画企画にも80名を超える組合員の参加があり、東日本大震災から10年以上が経過した今でも「3.11を忘れない」ことを、とても多くの組合員と確認することができました。被災地は未だ平時とは言えない状況ですが、2022年度もこれまでと変わらず、組合員、支援団体とともに取り組んでまいります。

生活協同組合パルシステム東京 専務理事 杉原 学



2021年度主な復興支援活動

4月22日

2021年度震災復興支援基金「パル未来花基金」は、10グループへ、総額239万4,702円を助成

4月24日

【オンライン】チェルノブイリ子ども基金主催、チェルノブイリ35年・福島10年、豊田直己講演会「チェルノブイリから福島」を後援
→参加者175名

5月

「2021年度東京電力福島第一原子力発電所事故被災者応援金」と、パルシステム東京の取引先金融機関「城南信用金庫ボランティア預金利息」の総額450万円を5団体に配分し贈呈

6月26日

【オンライン】NGO団体FoE Japan事務局長の満田夏花氏講演「3.11から10年一終わらない原子力災害」開催
→参加者24名

8月

パルシステム東京復興支援活動レポート『10年のあゆみ (Pray for Japan)』を発行。冊子はHPで公開

10月11日

【オンライン】「パル未来花基金」2020年度助成グループ活動成果報告会を開催
→参加者19名

10月23日

【オンライン】さよなら原発オンライン集会に参加
→参加者141名

10月30日

【オンライン】「子どもの甲状腺検診」事前学習会開催
→参加者25名

11月2日～6日

宮城県南三陸「南三陸#食べて応援」企画を実施。日本初の養殖の国際認証を取得した「牡蠣」のほか、「マダコ」「海藻」の注文を受付、3月中に全てのお届けが完了。
注文点数469点(注文金額265万4,420円)

11月3日、13日

「子どもの甲状腺検診」を三鷹市、新宿区(パルシステム東京本部)の2会場で開催
→参加者97名

11月27日

【オンライン】福島スタディツアー2021を開催
→参加者52名

2022年3月12日

【オンライン】～3.11を忘れない～映画「千千里の空とマドレーヌ」上映&監督トークを開催
→参加者86名

子どもの甲状腺検診

「いわき放射能市民測定室たらちね」の協力のもと2015年から毎年実施している子どもの甲状腺検診。検診は、新型コロナウイルス感染防止に細心の注意を払い運営しました。2021年度は97名が受診。コロナ禍でも参加者数は例年と変わらず、組合員の関心の高さがうかがえます。



検診に参加するご家族を対象に事前学習会を開催し、福島の現状や、甲状腺検診を受けるための注意点などを説明しました。



震災復興支援基金(パル未来花基金)

助成実績

震災から10年。今も復興支援に取り組む組合員がいます。「パル未来花基金」は支援を続ける組合員を資金面で応援する基金。2021年は10グループに計239万4,702円を助成しました。

パル未来花基金助成グループ

- ソーマダーナ ●東日本大震災「祈り」実行委員会 ●ハート・のんびる
- 星つむぎの村 ●までいタイムズ ●福島こども保養プロジェクト@練馬
- 福島の子どもたちと夏休み保養プロジェクト
- シュレー大・零穿(てきせん) 大有志石巻支援を風化させない会
- アンサンブル・ふあさふあす ●甲状腺検診かつしか

※上記のうち、2団体は活動中止により全額返金

2021年度東京電力福島第一原子力発電所事故被災者応援金

福島原発事故から10年たった今も、地道に被災者を支援する市民団体を応援する募金活動。2021年度はパルシステムグループ全体で1,489万4,233円(うちパルシステム東京からは543万9,349円)の募金が寄せられました。

東京電力福島第一原子力発電所事故被災者応援団体

- いわき放射能市民測定室たらちね ●沖縄・球美の里 ●FoE Japan
- ハートフルハート未来を育む会 ●ふよう土2100 他11団体



今までの
東日本大震災
復興支援活動報告書
(Pray for Japan)
バックナンバー



復興支援
活動レポート
随時更新